

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第14週の発生動向

### トピックス

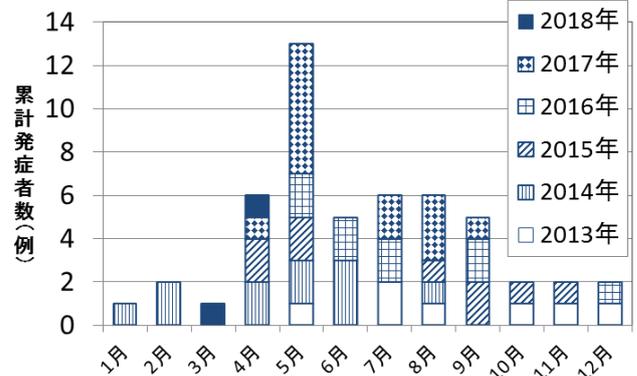
#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内から1例あった。患者は70歳代男性で、発症は4月上旬である。ダニの刺し口が有り、海外渡航歴は無い。県内での報告は今年2例目で、累計51例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	13	19	12	3

県内のSFTS 月別発症者数(届出開始以降)



### 全数報告の感染症(14週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例。
- 5類感染症：急性脳炎1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、百日咳5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	0~4歳	女	無症状病原体保有者	—
			0~4歳	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	肺結核	咳、発熱
			80歳代	女	肺結核	発熱
			80歳代	女	肺結核	症状なし
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、刺し口
	レジオネラ症	宮崎市	80歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎
5類	急性脳炎	宮崎市	80歳代	女	インフルエンザウイルスB	発熱、意識障害
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症
	百日咳	高鍋	10歳代	女	—	持続する咳
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳、副鼻腔炎
			日向	10歳代	女	—
10歳代				男	—	夜間の咳き込み

### 定点把握の対象となる5類感染症

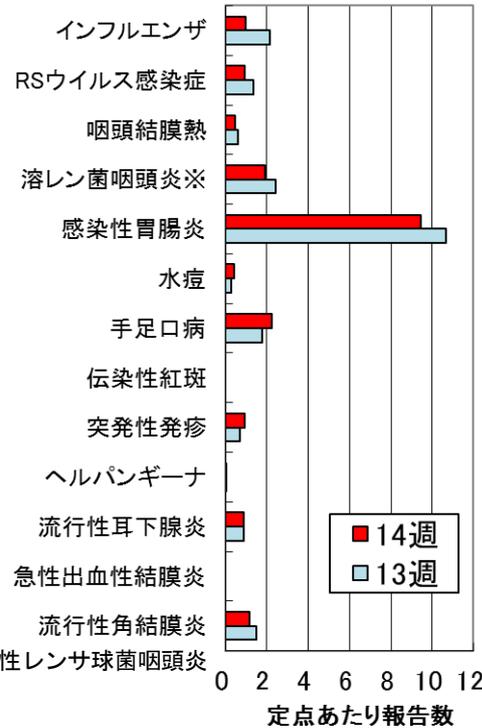
・定点医療機関からの報告総数は689人(定点当たり19.8)で、前週比81%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎(ロタウイルス)である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

報告数は341人(9.5)で、前週比89%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(10.4)の約0.9倍である。小林(21.3)、都城(11.5)、中央(11.0)、高鍋(10.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~5歳が全体の6割を占めている。

《前週との比較》



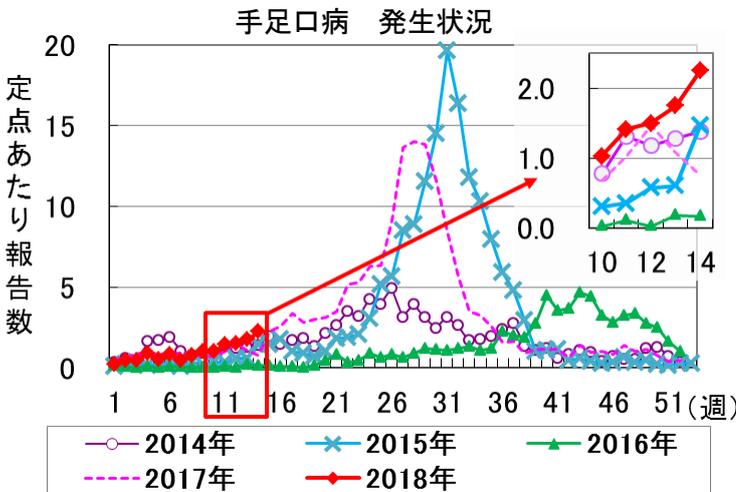
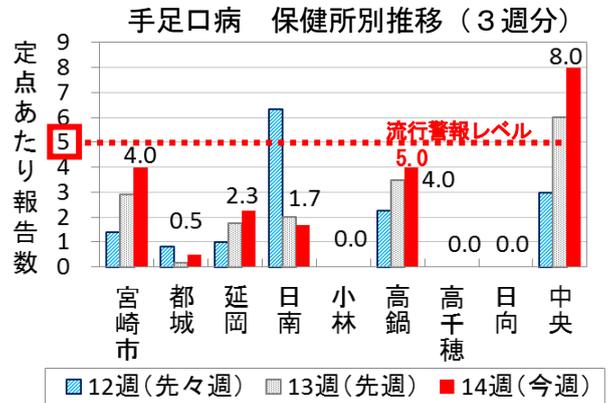
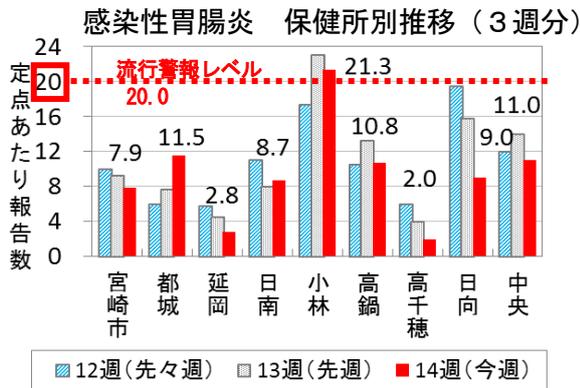
【手足口病】

報告数は81人(2.3)で、前週比129%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.87)の約2.6倍である。中央(8.0)、宮崎市、高鍋(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は4歳未満が全体の8割以上を占めている。

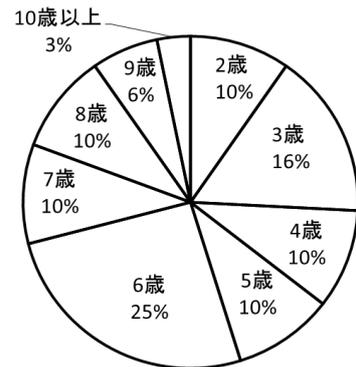
【流行性耳下腺炎】

報告数は31人(0.86)で、前週比97%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点あたり平均値\*(0.79)の約1.1倍である。日南(9.7)、延岡(0.25)、都城(0.17)保健所からの報告である。年齢群別は別グラフに示す。日南保健所からの報告は昨年9月から多く見られ、流行警報レベル開始基準値を超えることも多い。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



流行性耳下腺炎 年齢群別割合



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

日向保健所から3例報告があり、いずれも10歳未満である。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(9.7)
小林	感染性胃腸炎(21.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(8.0)

※流行警報レベル開始基準値\*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成30年4月9日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
<i>Nocardia</i> spp.	70歳代	女	2018.03.02	肺ノカルジア症	喀痰	2018.03.26
EPEC (O8:HUT)	20歳代	女	2018.03.12		便	2018.03.23
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	30歳代	男	2018.03.28		便	2018.04.05

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
アデノウイルス3型	0～4歳	女	2017.11.27	不明の発疹症、40.1℃、発疹（紅斑）、鼻水、咳	咽頭ぬぐい液	2018.03.30
コクサッキーウイルスA10型	0～4歳	女	2017.12.20	ヘルペス口内炎、37.8℃、口内炎、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2018.03.30
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2018.01.06	急性心筋炎、40.0℃、熱性けいれん、循環器障害（心筋炎）、意識障害	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2018.01.10	けいれん重積、40.0℃、下気道炎（気管支炎）	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
単純ヘルペスウイルス1型	0～4歳	男	2018.01.30	ヘルペス歯肉口内炎、40.1℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
インフルエンザウイルスB（山形系統）	0～4歳	男	2017.11.25	ウイルス性発疹、上気道炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
インフルエンザウイルスB（山形系統）	40歳代	女	2018.03.06	インフルエンザB型、38.8℃	鼻汁	2018.04.05
インフルエンザウイルスB（山形系統）	5～9歳	男	2018.03.07	インフルエンザB型、38.9℃、下気道炎（気管支炎）	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	女	2018.02.14	インフルエンザA型、38.3℃、下気道炎（気管支炎）	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2018.02.16	インフルエンザA型、39.5℃	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2018.03.05	40.0℃、上気道炎、下気道炎（気管支炎）	鼻汁	2018.04.05
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	男	2018.03.06	インフルエンザA型、39.4℃、頭痛	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2018.03.07	インフルエンザA型、39.0℃、頭痛	鼻汁	2018.04.05
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2018.03.08	インフルエンザA型、41.2℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2018.04.05
ヒトメタニューモウイルス	5～9歳	男	2018.02.14	急性気管支炎、38.0℃、下気道炎（気管支炎）	鼻汁	2018.03.30
RSウイルス	0～4歳	女	2018.03.01	急性脳症疑い、40.0℃、熱性けいれん	咽頭ぬぐい液	2018.03.30
A型肝炎ウイルス（遺伝子型 I A）	20歳代	女	2018.03.24	A型肝炎、38.0℃、黄疸、肝機能障害、倦怠感、食思不振	便	2018.03.27

○けいれん症状のある幼児2名からヒトヘルペスウイルス6 (HHV6)が検出された。HHV6にはHHV6Aと6Bがあり、乳幼児に突発性発疹や熱性けいれんを起こすのは、HHV6Bである。1歳までにほとんどの小児がHHV6Bに対する抗体を獲得し、初感染以降は持続潜伏感染状態となる。全国のヘルペスウイルス分離・検出状況を見ると、HHV6が最も多く検出されており、次いでHHV7、単純ヘルペスウイルス1型となっている。

🇯🇵 全国2018年第13週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第13週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	311例			
3類感染症	細菌性赤痢	4例	腸管出血性大腸菌感染症	11例	腸チフス 1例
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	8例	重症熱性血小板減少症候群 1例
	つつが虫病	2例	デング熱	2例	マラリア 1例
	レジオネラ症	7例			
5類感染症	アメーバ赤痢	15例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 28例
	急性脳炎	5例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14例	後天性免疫不全症候群	10例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 5例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	43例	水痘（入院例） 5例
	梅毒	67例	播種性クリプトコックス症	7例	破傷風 3例
	百日咳	46例	麻しん	4例	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RSウイルス感染症の報告数は1,139人(0.36)で前週比95%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.21)の約1.7倍である。沖縄県(1.8)、宮崎県(1.3)、鹿児島県(1.0)からの報告が多く、年齢群別では3歳未満が全体の約9割を占めている。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第14週(04月02日～04月08日)

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	126	58	25	8	14	1	8	1		1	
	定点あたり	2.14	0.98	1.56	0.80	2.00	0.20	1.60	0.17	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	48	34	13	7	5					9	
	定点あたり	1.33	0.94	1.30	1.17	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	16	5		2	3		3		3	
	定点あたり	0.61	0.44	0.50	0.00	0.50	1.00	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	87	68	12	16	13	7	1	2	1	9	7
	定点あたり	2.42	1.89	1.20	2.67	3.25	2.33	0.33	0.50	1.00	2.25	7.00
感染性胃腸炎	報告数	384	341	79	69	11	26	64	43	2	36	11
	定点あたり	10.67	9.47	7.90	11.50	2.75	8.67	21.33	10.75	2.00	9.00	11.00
水痘	報告数	10	15	5	4	2		1	2		1	
	定点あたり	0.28	0.42	0.50	0.67	0.50	0.00	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	63	81	40	3	9	5		16			8
	定点あたり	1.75	2.25	4.00	0.50	2.25	1.67	0.00	4.00	0.00	0.00	8.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	33	14	1	4	8	2	1		3	
	定点あたり	0.69	0.92	1.40	0.17	1.00	2.67	0.67	0.25	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2	1		1						
	定点あたり	0.06	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	32	31		1	1	29					
	定点あたり	0.89	0.86	0.00	0.17	0.25	9.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	7	5		2						
	定点あたり	1.50	1.17	1.67	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	16	3								3	
	定点あたり	2.29	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		3.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～14週)

2類感染症	結核	54例(5)				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	17例	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)
	つつが虫病	1例	レジオネラ症	2例(1)		
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例	急性脳炎	5例(1)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	17例(1)	梅毒	1例	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	35例(5)				

( )内は今週届出分、再掲